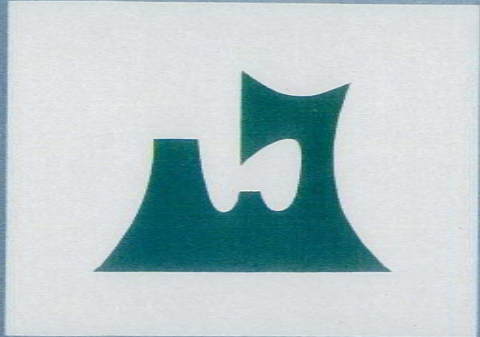


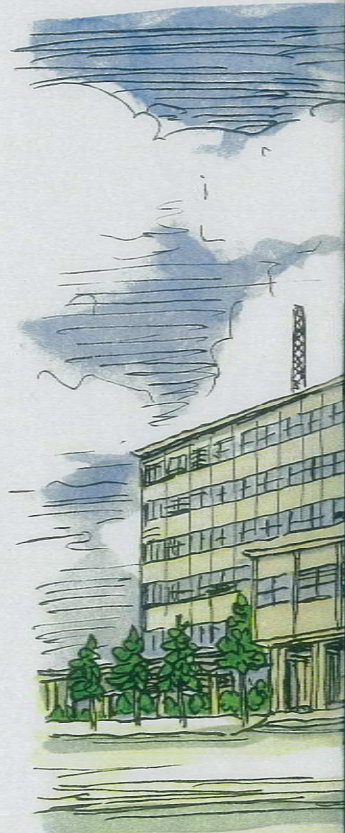
Y121-020-10



\*1200601743763\*

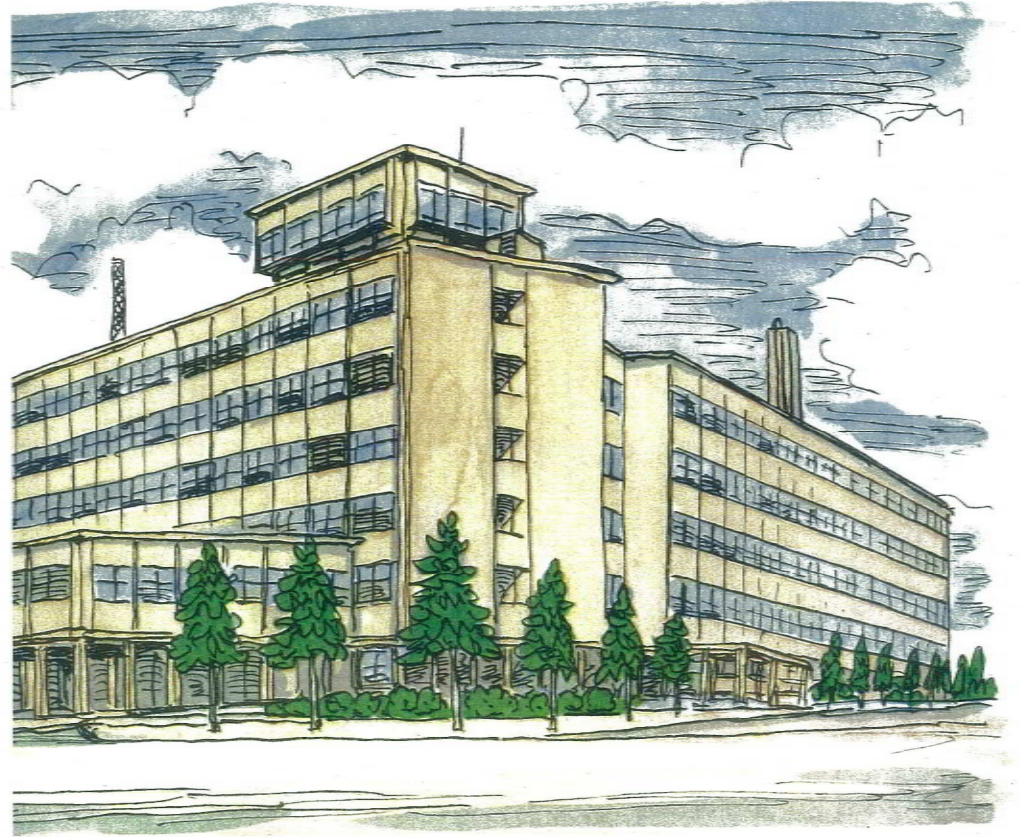


(紋章は青森県章)



Y121-020-10

# 青森県庁舎竣工記念



青 森 県

1961

ごあいさつ

このたび青森県庁舎がめでたく竣工しましたことは、  
県民のみならずとも心から喜びにたえません。

この新庁舎は、東京御所を設計された東京工業大学教  
授谷口吉郎博士の設計になるもので、北の国青森県のシ  
ンボルにふさわしい重厚にして、明るい庁舎であります。

また正面玄関を飾る壁画は、本県出身の世界的に有名  
な棟方志功画伯の製作でありまして、新庁舎に一そう生  
命感をあたえるものと存じます。

これまで県民のみならずから寄せられたご理解とご協  
力に対し、心から感謝申し上げます。

この上は、県民のみならずと更に心をひとつにして、  
相共に県政の進展に献身いたしたいと考える次第でござ  
います。

昭和 36 年 1 月 22 日

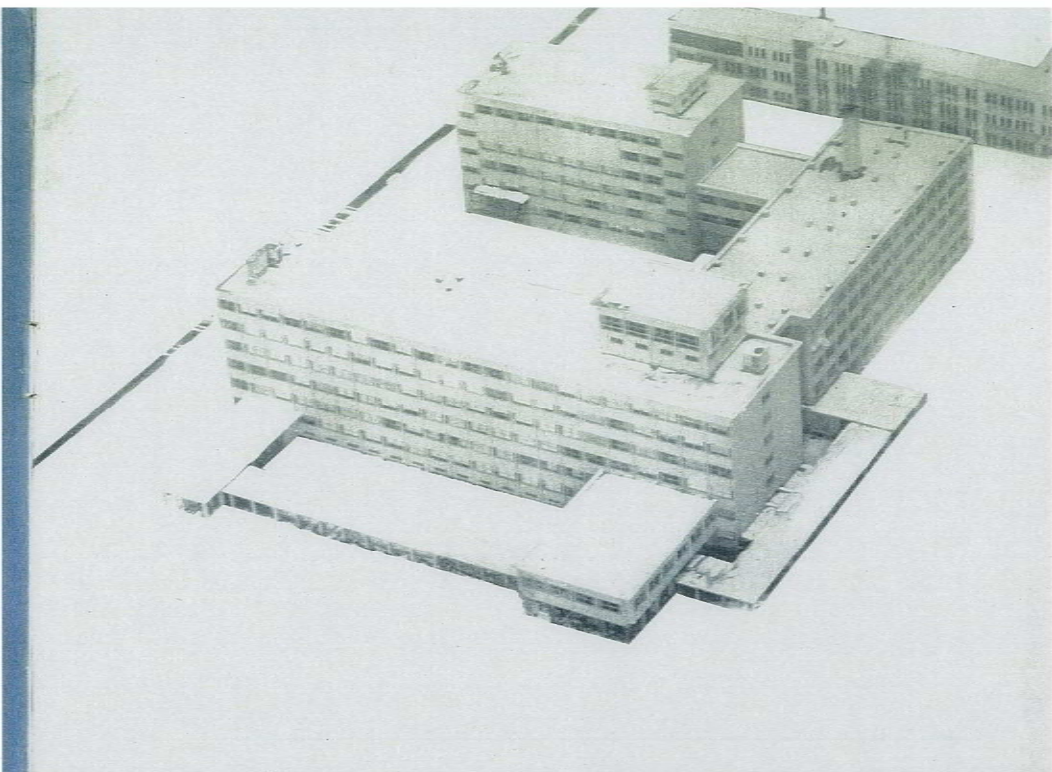
青森県知事 山崎若男



県庁舎の沿革

- 明治4年9月5日 塩釜豊原の五系を合併し、弘前県となる。(弘前城内)
- 明治4年9月23日 弘前県庁を青森に移し、青森県となる。(長島1番地 海軍艦内)
- 明治47年12月1日 県庁舎改築開庁(同上跡)
- 明治53年1月4日 洋式建築による新庁舎竣工(同上跡)
- 昭和20年7月28日 戦火により焼失
- 昭和22年3月31日 新庁舎落成
- 昭和22年1月24日 火災により焼失
- 昭和25年1月20日 新庁舎落成
- 昭和36年7月22日 現庁舎竣工

本館築館歴から陸奥館を記す



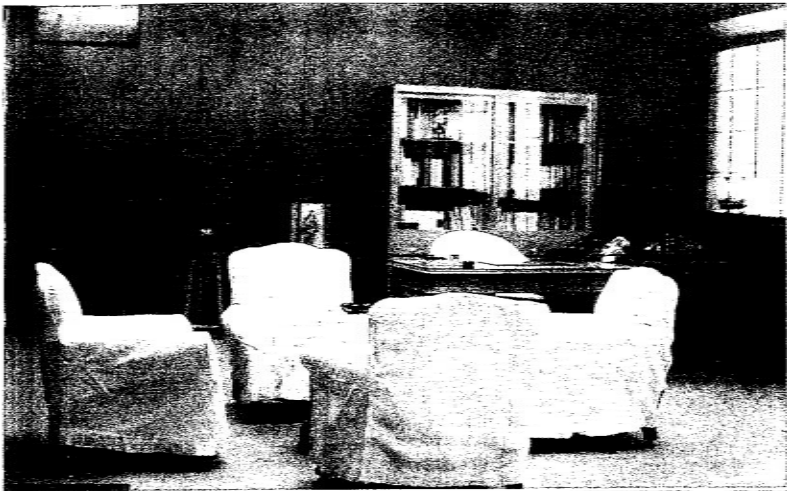
青森県の民謡には、素朴な真実がこもり、聞く人の胸を打つ。

きびしい風土に耐えようとする生活の感情が、人間の親和を訴えるのであろう。そのような詩情と気魄が青森の気風に濃い。

私は青森県の県庁を設計するに当って、建物はまたその風土色に必ずするものにしたと努力した。

そのために建築の構造や材料には、できるだけ風雪に耐えるような技術的注意を払い、屋内の設計には事務の能率と清潔さを重んじた。特にその意匠には北方人の素直さと心の美しさを表現したいと苦心したのであったが果して県民の御期待に添い得たであろうか。

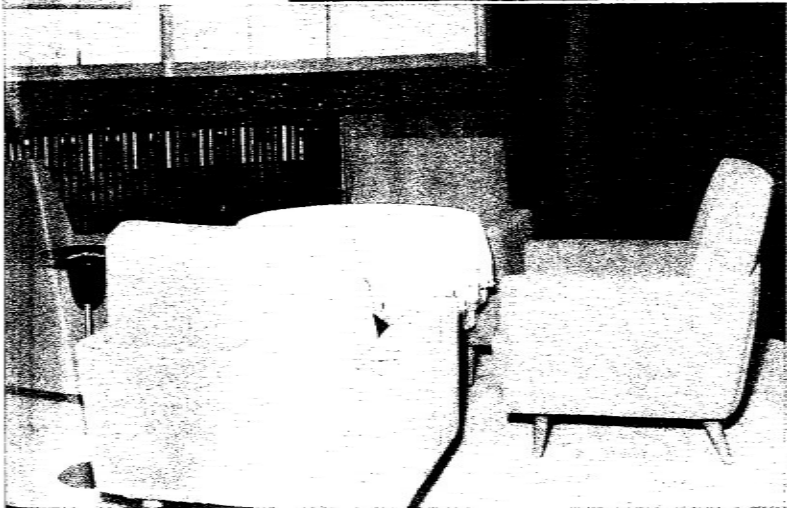
谷口吉郎



知事室



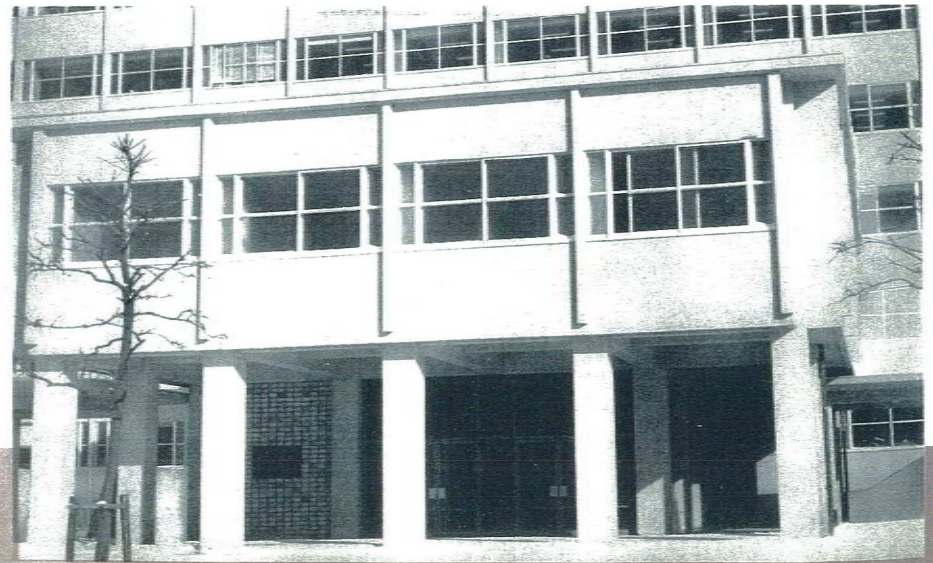
議長室



特別室



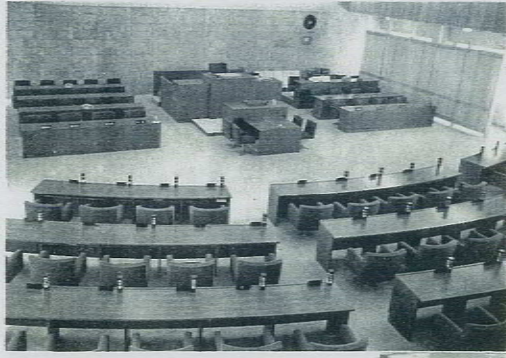
エレベーターホール



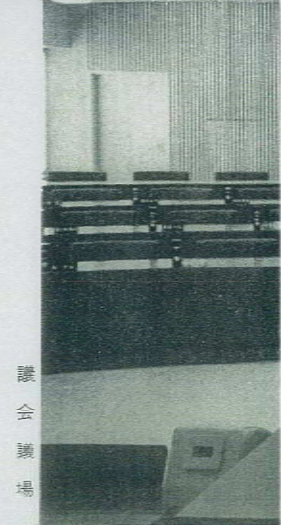
正面大玄関



正面玄関ホール壁画  
「花矢の柵」 棟方志功作



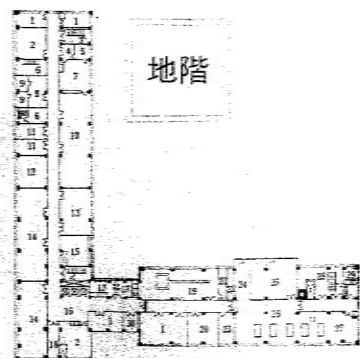
議会委員会室



議  
会  
室



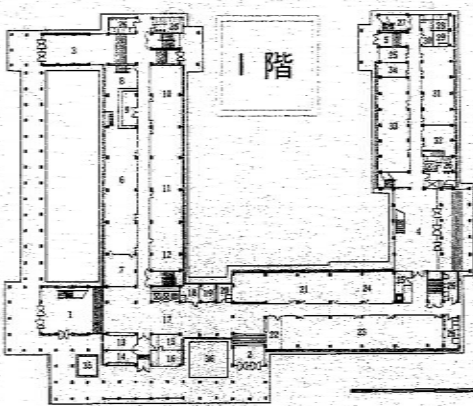
1. 台本
2. 日誌
3. 物品
4. 物品
5. 物品
6. 物品
7. 物品
8. 物品
9. 物品
10. 物品
11. 物品
12. 物品
13. 物品
14. 物品
15. 物品
16. 物品
17. 物品
18. 物品
19. 物品
20. 物品
21. 物品
22. 物品
23. 物品
24. 物品
25. 物品
26. 物品
27. 物品
28. 物品
29. 物品
30. 物品



地階

# 各階配置図

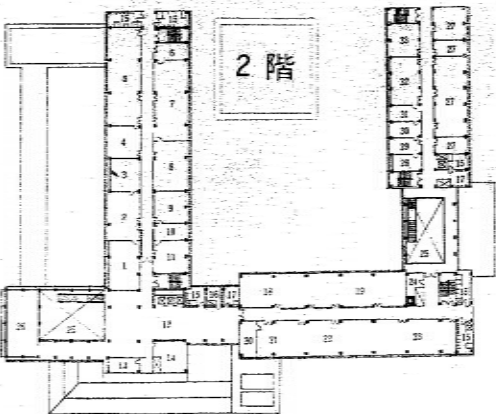
1. 正面玄関
2. 東玄関
3. 西玄関
4. 事務室
5. 出納係
6. 出納係
7. 出納係
8. 出納係
9. 出納係
10. 出納係
11. 出納係
12. 出納係
13. 出納係
14. 出納係
15. 出納係
16. 出納係
17. 出納係
18. 出納係
19. 出納係
20. 出納係
21. 出納係
22. 出納係
23. 出納係
24. 出納係
25. 出納係
26. 出納係
27. 出納係
28. 出納係
29. 出納係
30. 出納係
31. 出納係
32. 出納係
33. 出納係
34. 出納係
35. 出納係



1階

1. 監査委員事務室
2. 監査委員事務室
3. 水産部工務課
4. 水産部工務課
5. 水産部工務課
6. 水産部工務課
7. 水産部工務課
8. 水産部工務課
9. 水産部工務課
10. 水産部工務課
11. 水産部工務課
12. 水産部工務課
13. 水産部工務課
14. 水産部工務課
15. 水産部工務課
16. 水産部工務課
17. 水産部工務課
18. 水産部工務課
19. 水産部工務課
20. 水産部工務課
21. 水産部工務課
22. 水産部工務課
23. 水産部工務課
24. 水産部工務課
25. 水産部工務課
26. 水産部工務課
27. 水産部工務課
28. 水産部工務課
29. 水産部工務課
30. 水産部工務課
31. 水産部工務課
32. 水産部工務課
33. 水産部工務課
34. 水産部工務課
35. 水産部工務課

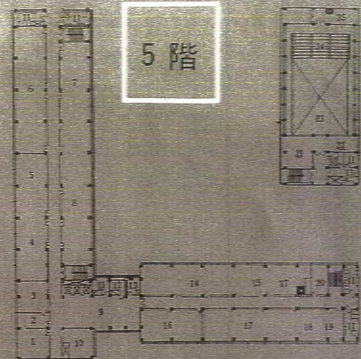
1. 知能課
2. 知能課
3. 知能課
4. 知能課
5. 知能課
6. 知能課
7. 知能課
8. 知能課
9. 知能課
10. 知能課
11. 知能課
12. 知能課
13. 知能課
14. 知能課
15. 知能課
16. 知能課
17. 知能課
18. 知能課
19. 知能課
20. 知能課
21. 知能課
22. 知能課
23. 知能課
24. 知能課
25. 知能課
26. 知能課
27. 知能課
28. 知能課
29. 知能課
30. 知能課
31. 知能課
32. 知能課
33. 知能課



2階

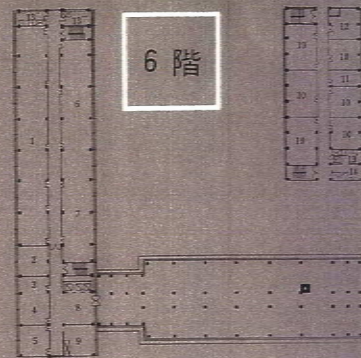
1. 建設課
2. 建設課
3. 建設課
4. 建設課
5. 建設課
6. 建設課
7. 建設課
8. 建設課
9. 建設課
10. 建設課
11. 建設課
12. 建設課
13. 建設課
14. 建設課
15. 建設課
16. 建設課
17. 建設課
18. 建設課
19. 建設課
20. 建設課
21. 建設課
22. 建設課
23. 建設課
24. 建設課
25. 建設課
26. 建設課
27. 建設課

1. 議事室
2. 議事室
3. 議事室
4. 議事室
5. 議事室
6. 議事室
7. 議事室
8. 議事室
9. 議事室
10. 議事室
11. 議事室
12. 議事室
13. 議事室
14. 議事室
15. 議事室
16. 議事室
17. 議事室
18. 議事室
19. 議事室
20. 議事室
21. 議事室
22. 議事室
23. 議事室
24. 議事室
25. 議事室



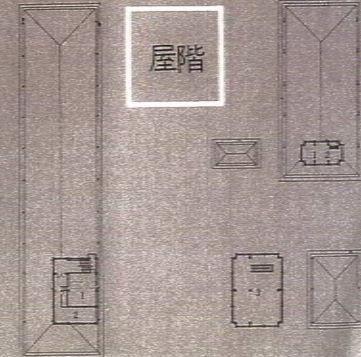
5階

1. 議事室
2. 議事室
3. 議事室
4. 議事室
5. 議事室
6. 議事室
7. 議事室
8. 議事室
9. 議事室
10. 議事室
11. 議事室
12. 議事室
13. 議事室
14. 議事室



6階

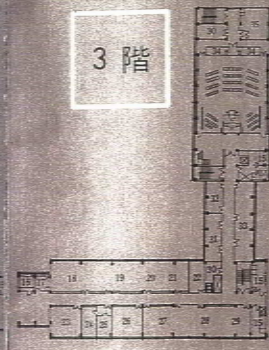
1. エレベーター
2. エレベーター
3. エレベーター



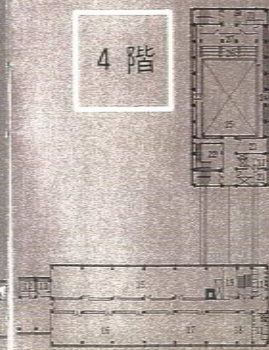
屋階

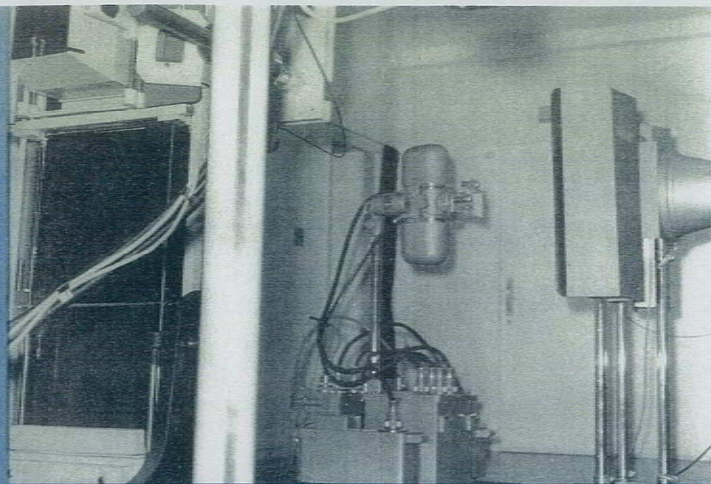
# 配置図

3階

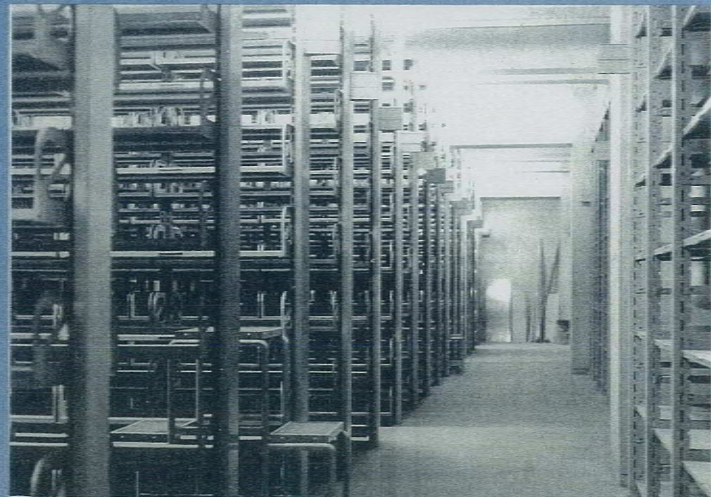


4階





診療室



文書庫



ボイラー室

## 建物概要

建築の位置 青森市長島1番地  
 基本設計 東京工業大学教授 谷口吉郎  
 施設設計 日建設計工務株式会社  
 実設計 ペダスタル杭打  
 主 体 鉄筋鉄骨コンクリート造  
 外 装 磁気タイル張り、外部窓建具  
 アルミニウムサッシ  
 屋根アスファルト防水

建物の面積  
 本館 13,744.00m<sup>2</sup>  
 別館 6,869.78m<sup>2</sup>  
 正面玄関 590.16m<sup>2</sup>  
 西支開廊 192.00m<sup>2</sup>  
 東南廻廊 492.20m<sup>2</sup>  
 議事室 4,495.67m<sup>2</sup>  
 議事室玄関 782.39m<sup>2</sup>  
 合計 27,166.20m<sup>2</sup>

建物の階数  
 本館 地上6階、地下1階  
 展望台8階  
 別館 地上5階、地下1階  
 展望台8階  
 議事室 地上6階  
 高さ 6階軒まで 23.10m  
 展望台軒まで 31.60m

設備の概要  
 A) 電気設備  
 変電、子増発電、蛍光灯、電気時計  
 自動火災報知装置、出退庁表示器  
 庁内放送機、議員在席表示器  
 議員出席人員表示器  
 B) 衛生給排水設備  
 上水道、雑用水用井戸、汚水浄化槽、  
 汚水排水設備、消火栓設備

給湯設備、瓦斯設備  
 C) 暖房換気設備  
 低圧蒸気暖、放射器  
 議場地下温風装置、換気装置  
 塵埃焼却装置

D) 電話設備  
 自動交換機 500回線

E) エレベーター設備  
 交流2段、速度毎分60m、定員15名

施工業者  
 建築工事 株式会社大林組  
 暖房設備工事 三建設備工業KK  
 電気設備工事 旭日電気工業KK  
 衛生給排水 株式会社加納工業所  
 設備工事 株式会社日立製作所  
 エレベーター 日本エレベーター製  
 設備工事 造株式会社

工事費 950,000,000円  
 着工 昭和33年9月1日  
 竣工 昭和36年1月22日

本工事の主なる特長

- 敷地の土質が軟弱なため、地表下26mにある洪積層に径43cmのペダスタル杭を打込み、一本の耐力を短期荷重70トンとして総数1,428本にて支持されている。
- 外部窓建具は塩風による腐蝕防止及び重量軽減の目的よりアルミニウムサッシを使用している。
- 支間ホール及び議場天井等の造作用材に県特産ヒバ無節材を約1千石使用している。

